

NEWS LETTER



2025年10月16日

小田急不動産株式会社

〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル www. odakyu-fudosan. co. jp/

小田急沿線の"愛おしい街"を紡ぐ物語集 「まちまちストーリーズ」第5巻を2年ぶりに刊行!

~ 発刊記念のオリジナルノベルティを数量限定でプレゼント!~

小田急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区 社長:五十嵐 秀)は、沿線の街の魅力を物語として描く小冊子「まちまちストーリーズ」の第5巻を、10月17日(金)より刊行します。

「まちまちストーリーズ」は、当社仲介営業部の社員が沿線の街を巡って取材を重ね、実際にある店舗や施設、街の景色を組み込んだうえでフィクション仕立ての物語にまとめたシリーズです。2020年2月にスタートし、これまでに4冊を刊行。沿線にお住まいの方やご来店いただいたお客様からは「地元の魅力を再発見できた」「自分の住んでいる街がさらに好きになった」といった声を数多くいただいてきました。今回の2年ぶりとなる最新巻は、シリーズの新たな節目となります。



【参考】まちまちストーリーズについて

- ・小田急沿線の愛おしい街の小さな物語集「まちまちストーリーズ」好評につき第4巻刊行!https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000071.000054964.html
- ・「まちまち」特設サイト https://www.odakyu-chukai.com/machi-machi/

1. 第5巻のテーマは「ウェルビーイング」

第5巻では「千歳船橋」「登戸」「玉川学園前」「唐木田」「秦野」「鵠沼海岸」の6つの街を舞台に、日常の中で感じる穏やかな幸福感や人と人とのつながりを描きました。都市の喧騒や華やかさとは異なる、"静かに満たされる心地よさ"に焦点を当てた一冊です。それぞれの街に根付く歴史や文化、自然との調和が生む空気感を通じて、「まちまちストーリーズ」が目指す"心に残る街の記憶"を体感いただけます。

2. 発刊記念のオリジナルノベルティ「特製ポストカード」を小田急不動産の各店でプレゼント

最新巻の刊行を記念して、物語の舞台となる6つの街を描いたオリジナルイラストをポストカードにしました。10月17日(金)より、小田急不動産の各店にて数量限定で配布します。全6種類の中からお好きな1枚をお選びいただけます。

それぞれの街の風景や空気感を描いたイラストは、ブックとともに街の魅力を感じていただける アイテムとなっていますので、お気軽に当社店舗へお立ち寄りください。

配布店舗一覧: https://www.odakyu-chukai.com/branch/ ※なくなり次第終了。



3. 地域交流とSNSでの広がり

「まちまちストーリーズ」をきっかけに、社員が地域の店舗を訪問し、ブックをお渡ししながら活動の趣旨を説明する取り組みを行ってきました。これまでに延べ24エリア以上で地域の皆さまとの交流が実現し、地域の輪を広げる活動としてもご評価をいただいています。

また、2022年に開設した小田急の仲介公式 Instagram

(https://instagram.com/odakyuchukai.co.jp) は、フォロワー1.6万人を超え、投稿を通じて 沿線の魅力や「まちまちストーリーズ」の世界観を幅広い層に届けています。オンライン・オフラ イン双方からの発信により、沿線の街を知り、楽しむきっかけを生み出しています。



4. 今後の展望

当社仲介営業部では、2020年に「この街を愛し、ここにしかない人生の景色を描く。」という事業ミッションを掲げました。「まちまちストーリーズ」は、その理念を物語という形に託した活動です。私たちは街を単なる住む場所としてではなく、人と人が出会い、交わり、育ち合い、そして思い出を重ねていく人生の舞台と捉えています。沿線の風景や人々の営みを物語として記録し共有することで、ここにしかない暮らしの価値を再発見し、次の世代へ受け継ぐことを目指しています。これからも「まちまちストーリーズ」の刊行や地域交流を続けるとともに、不動産事業を通じて人々の暮らしをつなぎ、沿線に息づく街の魅力を未来へと紡いでいきます。

5. 小田急不動産の仲介事業について

小田急不動産の仲介事業では、小田急沿線に16店舗を展開し、地元に密着した沿線の街のプロとして、60年にわたり不動産の売却、購入、住み替え等のお手伝いをしてきました。これからも、不動産仲介業を通じて、街と街に暮らす人々に真摯に向き合い、小田急沿線に暮らす人々の幸福と感動を創造します。

事業理念策定プロジェクトの詳細については、PRTIMES STORY「街と歩み、人生 に

寄り添う。不動産仲介の使命を言葉にした、ブランディング。」をぜひご覧ください。 https://prtimes.jp/story/detail/oroGRduZYLr

以 上